

2017年現役若手プロ野球選手への「セカンドキャリアに関するアンケート」結果

2017年10月に開催された「第14回みやぎフェニックス・リーグ」(以下、フェニックス・リーグ)で、現役若手プロ野球選手に対して、今回で11回目となる引退後のセカンドキャリアに関するアンケートを実施しました。その結果を以下の通りお知らせします。

なお、アンケート回答者の平均年齢は23.3歳と若手選手が対象ですので、あくまでも「若手選手の意識調査」と限定的な位置づけであることを前提に内容をご確認ください。

対 象：フェニックス・リーグに参加した12球団所属選手に配布。235名回収。

調査方法：無記名によるアンケート記入方式

属 性：・平均年齢=23.3歳(18歳~33歳)

18歳~22歳 95人(40.4%)

23歳~26歳 102人(43.4%)

27歳~29歳 30人(12.8%)

30歳以上 8人(3.4%)

- ・プロ野球平均在籍年数=5.7年(1年~14年)
- ・入団前経歴=高校(50%) 大学(29%) 社会人(15%) その他(6%)
- ・2017年平均年俸=836万円
- ・独身既婚比率=独身(80%) 既婚(20%)
- ・主なポジション=投手(48%) 捕手(13%) 内野(24%) 外野(15%)

＜全体のサマリー＞(詳細は別紙参照)

1. 「引退後に不安を感じている選手」は全体の64%(昨年は67%)
2. 内訳は進路と収入で合計87%
3. 引退後の希望進路(「やってみたい」と「興味がある」の合計%。複数回答可。)

1位	資格回復し高校野球指導者	63%	昨年1位
2位	一般企業の会社員	57%	昨年2位
3位	大学・社会人の野球指導者	56%	昨年3位
4位	社会人・クラブチーム現役	54%	昨年5位
5位	プロ野球の指導者	53%	昨年4位

*1位は11年連続で「高校野球指導者」が入る。

*2位「一般企業の会社員」、3位「大学・社会人の野球指導者」。

*「一般企業の会社員」は昨年同様2位に定着。

以上

2017年フェニックス・リーグ アンケート調査
(引退後の不安)

◎現役引退後に不安を持っているか (235名中)

不安がある 150名 (64%)
不安はない 85名 (36%)

◎不安要素 (224票。複数回答可。)

1. 収入 98 (44%)
2. 進路 96 (43%)
3. やりがいの喪失 16 (7%)
4. 世間体 14 (6%)

年	不安あり%	不安なし%	収入%	進路%
2008	76	24	40	45
2009	74	26	39	45
2010	72	28	37	56
2011	70	30	43	43
2012	72	28	45	47
2013	74	26	47	43
2014	69	31	46	43
2015	73	27	45	44
2016	67	33	49	41
2017	64	36	44	43
平均	71	29	44	45

引退後の職業意識について

＜設問＞ NPB12 球団を退団後どのような仕事をしたいですか。

1～15 の中より○を付けてください。

	やってみたい 人(%)	興味がある 人(%)	やりたくない 人(%)
1. 高校野球の指導者	33 (14%)	112 (49%)	84 (37%)
2. 一般企業で会社員	16 (7%)	113 (50%)	97 (43%)
3. 大学・社会人野球指導者	26 (11%)	106 (45%)	102 (44%)
4. 社会人・クラブで現役続行	17 (7%)	109 (47%)	107 (46%)
5. プロ野球の指導者	27 (12%)	93 (41%)	106 (47%)
6. スカウト・スコアラー	9 (4%)	106 (47%)	110 (49%)
7. アカデミー・子供の指導者	8 (4%)	105 (46%)	115 (50%)
8. 飲食店開業	18 (8%)	92 (40%)	118 (52%)
9. 球団のBP用具係等裏方	11 (5%)	95 (41%)	123 (54%)
10. 海外球団で現役続行	18 (8%)	54 (23%)	158 (69%)
11. マッサージ等開業	7 (3%)	61 (27%)	160 (70%)
12. プロ野球解説者	11 (5%)	56 (25%)	154 (70%)
13. 大学・専門学校進学	7 (3%)	51 (23%)	164 (74%)
14. 独立リーグで現役続行	2 (1%)	29 (13%)	198 (86%)
15. 競輪等他競技へ	3 (1%)	23 (10%)	250 (89%)

「やってみたい+興味ある」仕事の推移

	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年
高校野球の指導者	①63%	①67%	①72%	①75%	①66%	①66%	①74%
プロ野球の指導者	⑤53%	④57%	⑤58%	③60%	③62%	②58%	③59%
スカウト・スコアラー等	⑥51%	⑥52%	④59%	④56%	⑤56%	④54%	④58%
アカデミー・子供の指導	⑦50%	⑥52%	⑤58%	⑤55%	④58%	④54%	⑤55%
大学・社会人野球指導者	③56%	③58%	②64%	②64%	②64%	②58%	②61%
飲食店開業	⑧48%	⑨43%	⑦44%	⑧45%	⑥51%	⑥49%	⑥49%
一般企業の会社員	②57%	②59%	③63%	⑦48%	⑦46%	⑦46%	⑧43%

引退後「やってみたい」仕事の推移

	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年
高校野球の指導者	①14%	①16%	①20%	①18%	①17%	②12%	①23%
プロ野球の指導者	②12%	③11%	③11%	③12%	③14%	①14%	③13%
スカウト・スコアラー等	⑩4%	⑥6%	④9%	④10%	④11%	③11%	④9%
アカデミー・子供の指導	⑪4%	⑧4%	⑥8%	⑤8%	⑥8%	⑥8%	④9%
大学・社会人野球指導者	③11%	②12%	②17%	②14%	②16%	③11%	②18%
飲食店開業	④8%	⑦5%	⑩5%	⑦6%	⑤10%	⑤9%	⑥8%
一般企業の会社員	⑦7%	④8%	⑧6%	⑪4%	⑩4%	⑫3%	⑪3%

学生野球資格回復研修会に関して

1. 学生野球資格回復制度をご存じですか？（回答 234 名）

手続きまでよく知っている	8 名（3%）
聞いたことはあるが詳細は知らない	163 名（70%）
全く知らない	63 名（27%）

2. 引退後研修会を受講して高校生の野球指導に携わりたいと思いますか？

（回答 234 名）

是非受講したい	37 名（16%）
機会があったら受講したい	103 名（44%）
受講しない	43 名（18%）
分からない	51 名（22%）

3. 「是非受講したい」「機会があったら受講したい」にチェックした方にお聞きします。あなたは資格回復後どのような形で高校野球に関わりたいですか？

（回答 137 名）

監督として野球部を率いたい	36 名（26%）
コーチなど指導の一部を担いたい	73 名（53%）
野球を通じて学生と触れ合いたい	21 名（16%）
分からない	7 名（5%）

* 認知度は相変わらず高く、昨年 77%、今年も 73%である。
また「受講したい」は昨年 67%、今年も 60%と関心が高い。

以上